

COVID-19 感染拡大の影響と入院中の子どもたちについてのアンケート集計

■参加者集計 n=65

対象者：クリニクラウン訪問先病院担当者、小児病棟で働くスタッフ

※上記以外にも保護者3名が回答

回答病院数：38 病院(うち不明3、重複病院24をのぞく)

北海道 (1)、宮城県 (1)、岩手県 (1)、茨城県 (1)、栃木県 (1)、千葉県 (1)、東京都 (4)、神奈川県 (1)、静岡県 (2)、長野県 (1)、富山県 (1)、福井県 (1)、奈良県 (1)、和歌山 (2)、大阪府 (8)、兵庫県 (2)、岡山県 (1)、高知県 (1)、熊本県 (1)、沖縄県 (6)

クリニクラウン訪問先病院の担当者様を対象に、『クリニクラウン WEB 事業アンケート(2020年5月8日～5月21日)』を実施。また、入院施設のある小児病棟で働いているスタッフの方を対象に、『新型コロナウイルス感染拡大の影響と入院中の子どもたちの様子についてのアンケート(2020年5月15日～5月31日)』を実施。調査目的及び質問事項については、同じたため、2つのアンケート結果を合わせた形で報告いたします。

<調査目的>

COVID-19の影響をうけ、入院中のこどもたちの抱えている課題や療養環境などがどのような状況にあるのか、実態を把握し、WEB環境を整え、感染のリスクなく外部からサポートする方法を模索するため。

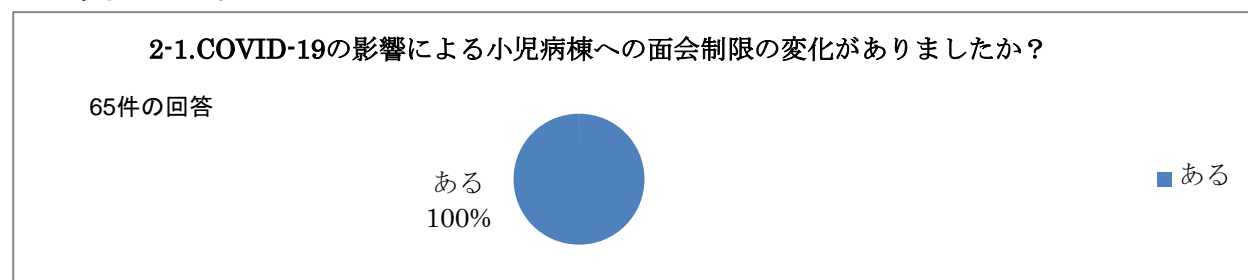
※内容の公開については、プライバシーを配慮し、統計数や意見などを当協会のHPなどで調査結果を公開します。

1. 回答者の方の職種

医師	14
看護師	19
CLS	2
プレイスペシャリスト	1
ホスピタル・プレイスペシャリスト	1
子ども療養支援士	4
小児看護 CNS	1
保育士	16
病院事務職	3
患児保護者	3
(空白)	1
総計	65

2-1. COVID-19の影響による小児病棟への面会制限の変化がありましたか？

ある：65 なし：0



2-2. 小児病棟の面会制限は、現在どのような状況ですか？(複数回答可)

集計 n=65

面会の状況	
両親のみ面会可能	17
面会者は1名のみなど人数を制限している	21
家族の面会は、基本的に認めない(緊急時のみ認める)	10
その他	
基本両親の面会可能。面会者は1名のみなど人数を制限している。面会時間の制限もあり。	9
両親のみ面会可能、面会者は1名のみなど人数を制限している	5
(NICU)母の三、面会時間内に(2時間)	1
家族の面会は、基本的に認めない(緊急時のみ認める)、付き添いは1名のみ可	1
病院が来院をお願いしたご家族及び、付き添いが必要な方を除いて、面会を一時停止している。付き添い者は親のみ1名。事情がある場合には祖父母も可。	1
付き添い1名、基本的に面会は認めていない	1
付き添いは1名のみ。付き添い以外の面会は両親であっても基本不可	1
面会禁止だが、付き添いとして家族1人のみ可能。交代時は速やかにしていただく。	1
3月は面会者1名であったが、面会制限から面会禁止となった。ただし付き添い者の交替は理由を確認して交替可能。また、入退院時のみ2人での送迎が可能。	1
面会者は1名のみなど人数を制限している、週に2日のみ	1
面会者は1名のみなど人数を制限している、付き添いを認めている	1
面会者は1名のみなど人数を制限している、面会時間を一回につき2時間までと制限している	1
両親か付き添い交代者の祖父母のみ	1
両親のいずれか1名のみ 公共交通機関を利用しない	1
両親のみ面会可能だが、シングルなど家庭状況に応じて祖父母等キーパーソンの面会可能	1
両親のみ面会可能、家族1名付き添い可(交代時は体温チェック)、面会禁止	1
両親のみ面会可能、面会者は1名のみなど人数を制限している、緊急または病院からの要請の場合を除き、面会時間は10~15分	1
両親のみ面会可能、面会者は1名のみなど人数を制限している、状況に応じては、相談を受け対応している	1
両親のみ面会可能、両親、親族のみ可能	1
両親または祖父母の内最大2名まで	1
総計	80

2-3. 上記の面会制限は、いつごろからですか？

n=65

2月下旬から	2
3月中旬から	1
3月下旬から	15
4月上旬から	23
4月中旬から	14
4月下旬から	5
5月上旬から	1

その他	
3月から面会は両親のみと限定。4月下旬から時間の制限を加えた。	1
インフルエンザ感染予防の面会制限から引き続き継続中	1
入院患者家族の面会制限は2月中旬より始めました。	1
退院していたため不明（保護者より）	1
総計	65

2-4. こどもたちの病棟での行動制限やプレイルームの使用制限はありますか？（複数回答可）

n=65

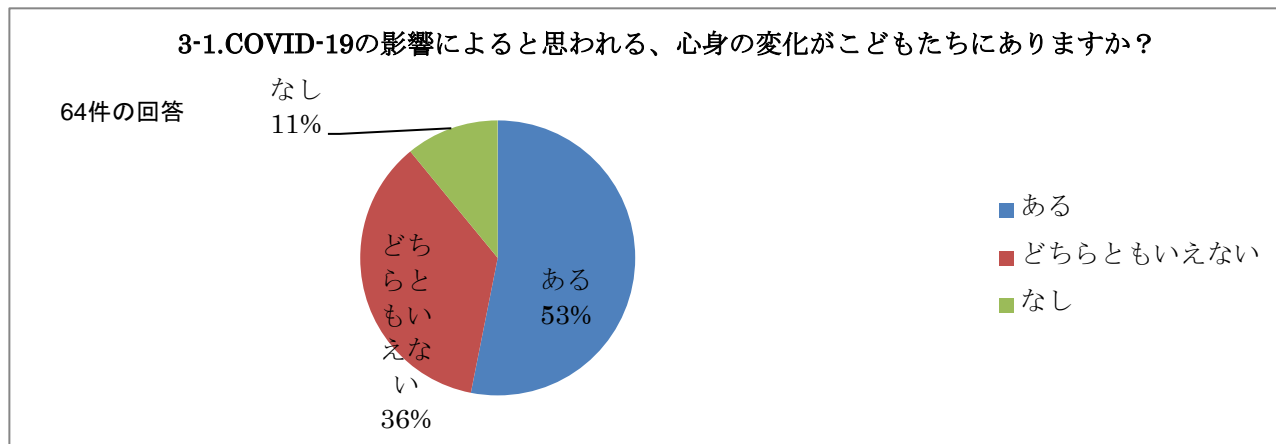
プレイルームは使用不可	22
基本、病室で過ごす。同室のこども以外との交流をしないようにしている	21
プレイルームは少人数で時間を区切り使用している	16
特になし	11
その他	
AYA世代病棟はデイルーム(プレイルーム)使用可だが、こども同士の接触を避ける、又は距離をとる、基本的に保育士と1対1の関わりのみとしている	9
2週間以上発熱のないこどもは使用可としている	1
NICUなのでプレイルームなし	1
イベントなど多人数の催しは中止している。使用者も少人数としている	1
プレイルームは使用不可、5/7以降はプレイルームは少人数で時間を区切って使用している。玩具は人が触ったらふくようにしている。トランプなどカード遊びはできない。	1
おもちゃ、絵本等の貸し出し中止	1
院内学級は休校、病室のみで過ごす	1
廊下の散歩は極力ご家族のみで。	1
おもちゃや絵本など最小数にして対応している。	1
食事はリスクが高いのでベッドで 学習は個別で対応	1
必要な外出後は2週間は自室で過ごす(当院は全室個室)	1
プレイルーム使用制限については元々の入院患者はないが、新規入院患者はあり。	1
AYA 世代病棟は運用が異なり、保育士と1対1での使用可能。人と人との接触は避け距離をとるようにする。	1
食事のテーブルは1人1テーブルを使用する。	1
プレイルームは使用不可	1
血液腫瘍の病棟は外泊禁止	1
病棟外の食堂は利用不可	1
予定手術も減り病床も制限され、入院患児が減って閑散としている	1
特に制限はしていなかったが同時間多数の使用は避けるように看護師の方で配慮していた	1
病室外に出るときはマスクを着用する	1
病棟にプレイルームがない	1
病棟内のみ	1
部屋のカーテンは常時閉める、プレイルームでの食事は禁止となったが遊びは許可されている	1
(空白)	
総計	101

2-5. COVID-19 の影響や対策などでの小児病棟全体の変化やスタッフの方が気をつけていることなどがあれば教えてください。

- ・勤務開始前の検温、マスクの着用、頻回な手洗い、会議、研修の縮小、休日の外出自粛
- ・COVID-19 収容用として8床を確保し扉で隔離している
- ・面会制限があり患者、家族ともストレスがあるようにみえるので、その follow も心掛けているように思います。
- ・小児がん病棟勤務のため、一般人より厳しく行動制限をしている（通勤、買い物、外出など）
- ・面会者や子ども達の感染症状の確認、子ども達や家族同士の接触回避。
- ・普段は、抗がん剤暴露対策（暴露すると発癌性、壊死性があるものもある）としてガウンゴーグル、手袋を着用し抗がん剤投与をしている。しかし、マスクやゴーグル、ガウン不足の今、その使用を制限され（マスクと手袋のみ使用）暴露リスクに晒されながら慎重に仕事をしている。
- ・手洗い、玩具の消毒をより意識して行われるようになった。
- ・発熱・感冒症状で入院する子ども達はほとんどが「コロナ感染の疑いも否定できない」という扱いで入院となるので、スタッフの入室も制限されてしまう。その為、保育介入も制限したり、おもちゃが貸し出せず、残念です。
- ・それ以前に、小児外来に受診する子どもも減り、入院患者が激減した為、小児病棟存続の危機となっています。
- ・感染対策の強化
- ・より感染対策への注意喚起
- ・マスク着用
- ・コロナの知識と感染対策方法の知識向上
- ・感染予防対策の徹底、ケアパッケージによる感染予防対策の復習
- ・マスク・手洗い・消毒の徹底。体温・体調の報告。休憩室使用は極力時差をつける、向かい合わせに座らない。分離児の詰所預かりを極力減らす。
- ・手指消毒など感染対策の強化、患児のマスク着用呼びかけ、面会制限のアナウンス
- ・面会制限による寂しさ等心理的負担へのケア
- ・個別のかかわりをよりこまめに行えるようにしている。できるだけ、ピリピリしないように平常心をもって勤務する。

3-1. COVID-19 の影響によると思われる、心身の変化が子どもたちにありますか？

ある：34 なし：7 どちらともいえない：23



3-2. COVID-19の影響によると思われる、心身の変化があると答えた方は、どんな変化があるか教えてください

- ・ 家族との面会制限や外出禁止によるストレス増加
- ・ 免疫抑制剤を飲んでいて、退院するのが怖いという子が出てきている。
- ・ 病室から出てプレイルームや友達の部屋に遊びに行くことも減り、ゲームやYouTubeで過ごす時間が増えた。
- ・ 寂しがったり、イライラする子も増えた。
- ・ イベントの中止やきょうだい面会の制限、外泊禁止などストレスフルな状態にあるこどももいる。
- ・ 友達と遊べず、我慢の限界がきている。
- ・ ストレスフル
- ・ 親に会えず、塞ぎ込んだり、泣いたりしている事が多くなった
- ・ 家族と会えないので不安が強くなり治療に前向きになれない。
また、家族の方も不安が強くなり、精神的にしんどくなってしまふ。
- ・ 外泊禁止、面会禁止、プレイルーム禁止によるストレス。身体を動かす機会がさらに減少。ゲーム・YouTube使用の増加。
- ・ 寂しさや孤独感の増長、治療へのモチベーション低下、ゲーム時間の急増、生活リズムの乱れ
- ・ おもちゃ等の使用・貸出制限により、遊びや活動の幅が狭まる。他児との交流がもてず、孤立感を覚えやすい。
- ・ 家に帰りたいたいと大声で騒ぐことが多くなった。
- ・ 面会制限だけでなく、外泊制限もあるため、家に帰れないストレスが精神的にも身体的にもあらわれている
- ・ 入院患者が減少しているなか、特にコロナ感染に関連した変化はないと思われる。
- ・ ご兄弟の中には、病院に来られず、心理士やCLSと非公式な交流の場を持たなくなり、家で母と二人の生活の中でストレスを募らせているお子さんもいらっしゃいました。自分には生きる価値がないという日記への書き込みやそれを見て泣いたり、自分を傷つけるイメージの遊びをして家族にわかしてもらおうとする様子がありました。元々あった兄弟葛藤が刺激された結果だと思いましたが、コロナによるいろいろなしわ寄せがご兄弟に向かっているのだなと思いました。
- ・ 遊び場、散歩の範囲が狭くなっている
- ・ 付き添いの家族にも上記でのストレスがあり、親子ともストレスとなっている
- ・ 入院患者数の制限もしているため、保育士・CLS・スタッフが児と寄り添える時間が増えた時期もあり顕著なストレスは見えていない。しかし今後長期化すれば必ず影響が出てくると思っている。
- ・ 外泊制限や付添家族の交代制限があり、主に家族のストレスが溜まっている。
- ・ 外出・外泊禁止、院内学級授業の休止の影響で子どもたちにストレスがかかっています。
- ・ 治療の合間の外泊が不可となりました。元気で病棟外へでることができずストレスが溜まっているようです。
- ・ 外来で子ども達をみていると外出自粛等子どもの遊びが制限され心理的な面でストレスが高くなっているように感じます
- ・ 外出・外泊が制限されることでのストレス増加、きょうだいの面会禁止や家族の面会制限からのストレス
- ・ 新型コロナウイルス感染による対応がなければ、感染対策が介助になっている期間で、1泊2日の外泊や、外出も可能であった子どもの中で、治療の薬剤の副作用も関与しているかもしれないが起声を発することもありじっとしていないため対応に困った。
- ・ また付き添いをしている母（家族）の中にもストレスによるものなのか、看護師になにかとクレームをぶつけてくるご家族も存在した。

- ・面会の制限による寂しさ、生活リズムが乱れる。子ども同士のかかわりが少ないストレス
- ・入院中の子ども達は、COVID-19 の流行の前から面会制限や、活動の制限があったため、COVID-19 の流行による心身の変化は感じない。ご家族からは、入院をしていると自宅に子どもがひとりであるより、入院中の他の子どもと交流ができた、保育士や看護師が常に傍にいたので安心すると話されている。また、他の子ども達が学校に行けないため勉強の遅れが生じないと話されている。
- ・高校生など、通学ができなくなったため、ストレスとなった。
- ・外出、外泊を禁止にしているため、長期入院のこどもや家族のストレスが高い
- ・学校もなく、面会も制限されている。基本的には部屋で過ごすため、精神的に痙攣を起こしたり、イライラしている児もいる
- ・COVID-19 受け入れのための病棟編成により、他の病棟へ転棟した児は慣れない環境となった事によるストレスが強い
- ・祖父母やきょうだいの面会が制限されたり、病棟外への散歩や1階にあるコンビニへ行けないことなどにより、今まで出来ていたことが急に制限され、ストレスが増えてきているように感じます。思春期の児はスタッフに少し強く当たることもあります。外泊も禁止となっているので、治療の励みがなく、家族やきょうだいとも触れ合いが減り、とても心配です。
- ・ストレスの増強 精神的不安定 生活リズムの崩れ
- ・プレイルームの閉鎖や玩具の貸し出しが禁止となりストレスを感じている。
- ・プレイルームの閉鎖による、集団あそびの機械の減少やおもちゃ等の貸し出しができない点で、多量なりともストレスを感じている。
- ・制限された生活にストレスが大きい。ストレスによる自傷行為。
- ・我慢することも増えていると思う。
- ・遊ぶ場所やおもちゃの制限によりストレスを感じイライラすることが増えている。
- ・病室で遊ぶことができないことや他児と関わりながら遊ぶことができないことにストレスを感じているよう。
- ・プレイルームの閉鎖や接触を控えることで、体を動かす時間が少なくなったり、他児と一緒に遊ぶなどの関わりが減り、1人で過ごす時間が増え、ストレスを抱えている。
- ・面会制限でのさびしさ、甘えられない、不安等
- ・他児との交流の機会がない。
- ・病室から出てプレイルームで遊ぶことができないので、遊びたいと訴えることがある。入院中は身体を思いきり動かすことができない
- ・(子どもたちの声) をアンケートに記載します。
「入院する時期が逆に今でよかった。みんな休みやから私だけが入院していて会えないとかないし、みんなより勉強が遅れる心配もない。」
「この1、2カ月は、学校のみみんなもコロナで休みやと思っていたから焦りとかなかったけど、これから終息して元の生活に戻れば、またみんなから取り残されることになる。」

4-1. 家族の面会制限や院内学級の休校、ボランティアの活動中止など、「遊び」や「学び」など外部からの支援がない中、取り組んでいることなどがあればお書きください

- ・少人数での散歩や運動の時間を設定している。
- ・本学の学生による長期入院中の高校生への Web 学習支援を準備中。
- ・少しの時間でも、子どもや家族が楽しく笑えるようなかかわり。おしゃべり。励まし。こども達が興味を持っている事を、それぞれ自分から調べたり勉強して掘り下げられるような関わり。

- ・距離が離れていても出来る遊びをこどもたちと考え行なっている(絵大会、クイズ大会など)
- ・できるかぎり、一緒に遊んだりする時間を設ける
- ・ビデオ等の映像や、壁面の装飾
- ・1家族ずつ、交代で、談話室にて工作タイム
- ・単身時の不安が強いお子さんのところにはスタッフができるだけ付き添うようにしています。
- ・他職種と協力して訪室回数や遊びの介入を増やす、一人でもできる遊びを提供する
- ・複数の保育士により、部屋ごとの訪問を始めた。絵本のよみきかせ、ペープサート、クイズ、ミニゲームなどのお楽しみ、イベントの開催を定期的に行っている。ベッドサイドでこどもが親子で遊べるような素材(ぬりえ、製作・工作など)の工夫。
- ・保育士さんや音楽療法士さんに頑張ってもらっている。
- ・オンライン授業の開始。
- ・ほぼ平常通り
- ・特に新1年生では、生活のメリハリをつけたり、学習の習慣が持てるように、声掛けや学習のサポートを保育士さんを中心に行っています。家の兄弟のこともあるので、面会時間が短縮されたり回数が減ったりという家族もあるので、自然と面会のないところに遊びの支援に入ることは増えていると思います。行事も縮小傾向で、プレイルームで集まってやることは禁止なので、各部屋を回って工作をするなど別の形でできるように考えています。
- ・絵本の準備
- ・ねぎらいや、体調や睡眠・食事がとれているかなどの確認の声をかけること
- ・院内学級・・・紙面交流(ドリルや遊び道具などの提供)
- ・保育士・CLSとの協働
- ・1ヶ月1回のイベント回数を増やした
- ・担当看護師による遊びのアプローチ
- ・QOLサポートチームが遊びなど工夫しています。
- ・学校によってはオンライン授業を取り組んでいるところもあります。
- ・院内学級によるタブレット端末を使用した遠隔授業、HPSによる病棟内での活動は継続しており、遊びを通じた患児との関わり。
- ・保育士、CLSに遊んでもらい介入
- ・病棟保育士による30分ずつであるが、付き添い交替
- ・集団で自己学習の時間を作る
- ・プロジェクターを使ってプレイルームでのシアター
- ・小スクリーンを使って自室内での好きなDVDを鑑賞する
- ・病院のネット回線を使用した学習の提供
- ・行事の充実、個別の学習支援(保育士と看護師)
- ・保育士が積極的に、子ども達のベッドサイドを回り、遊びの提供を行っている。
- ・テレビ電話などを用いた面会
- ・リハビリを利用して、キャッチボール等で気分転換を図っている
- ・学童の児は、日課表を作り、看護師や保育士が勉強の見守りをしている
- ・一日の生活スケジュールをたて、ラジオ体操を取り入れるなど身体を動かすことも取り入れている。
- ・週末や祝日は、映画鑑賞の時間を設けている
- ・「母の日」や「父の日」などのイベントは、できる範囲で保育士と協力しながら行った
- ・転棟した児へは、元の病棟の保育士が訪問して関わっている
- ・学童児は、在籍校から宿題が出ているので、児と相談しながら学習時間や教科を決めています。見守りが必要な場合は、適宜そばで見守り、一緒に学習を行っています。遊びに関しては、ゲームや

動画鑑賞ばかりにならないように、保育士やCLSが介入し、人と関わったり、会話をしたり、遊んだり時間を増やすようにしています。

- ・ 室でストレス発散するような個別遊びの提供・話し相手になる
- ・ 職員（フリー保育士3名）による、部屋ごとの訪問を始めた。絵本の読み聞かせ、ペープサート、クイズ大会、ミニゲーム等のイベントの開催を、それぞれの病棟の子ども達に応じた内容の遊びを、病棟ごとに1部屋ずつ回り、活動している。
- ・ ベッド上であそべるあそびの提供とその機会を増やす。
- ・ むりえやシール貼り等の製作遊び、個人のおもちゃを使ったあそび。
- ・ 保育士と1対1ではあるが、プレイルームに限らず、病棟内の場所を選んで過ごすなど、いつもと違う工夫や、看護師と保育士と一緒に訪室するなど。
- ・ ベッドサイドでの関わる時間の回数を増やす事が可能な時は、実施している
- ・ 気分転換・ストレス発散できるよう、環境を整えることに努める
- ・ 院内保育士さんの活用
- ・ 特別なことは行っておりません。ただ、学校がなく困っている状況でした。
- ・ 既に退院しているが、外部との接触はないため、オンラインで遊びの習い事をしている（いろんな道具を使って思いっきり遊ぶ、というもの）（保護者より）
- ・ スマホ制限時間なし。タブレット購入（保護者より）

4-2. 今、あなたが大変だと感じていることやサポートしてほしいことがあればお書きください。

（自由記述）

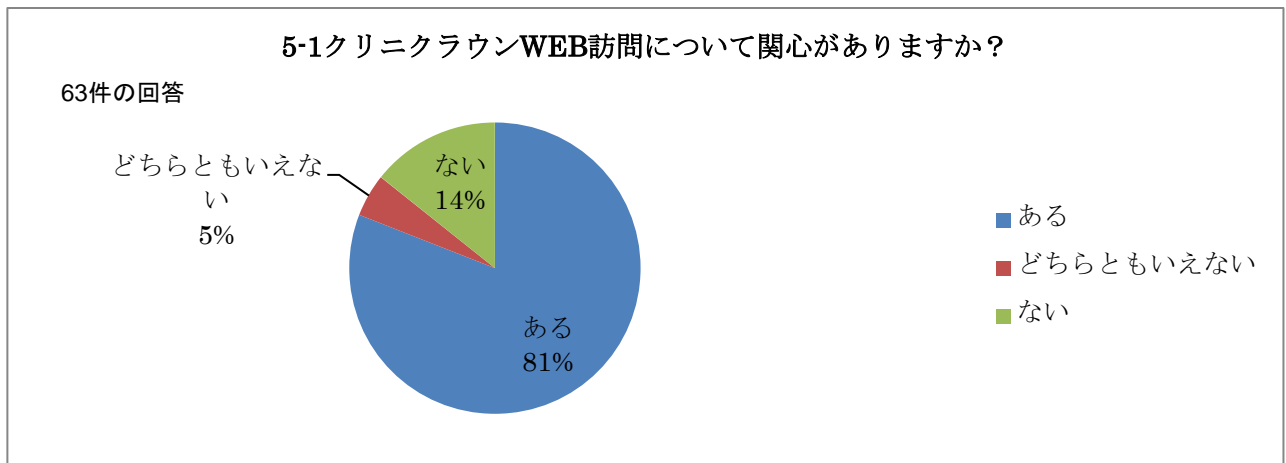
- ・ 子どもたちのスケジュール（分教室の休校、リハビリ活動の縮小）がなくなり余暇時間が増えている状況。精神科では対人関係に問題のある子どもたちやストレスの発散方法に問題がある子どもたちが多くいるため、遊びの時間を提供したいが、個別の対応が必要であり、マンパワーが不足している。また、刺激となりうる因子（物や人、音や光など）にも配慮が必要であり、遊びのアイデアが少ないこともあり、困っている。
- ・ COVID-19を疑った緊急入院では一歩も個室から付き添い者とともに出られず、移植患児以上にストレスが強い。
- ・ 面会や学校、プレイルームで遊ぶ時間が少ない分、こどもが他の医療者以外の人と関わる時間が少なく、看護師とのコミュニケーション率が上がった。嬉しい反面、残業となるのが増えた。
- ・ Web事業で、医療者以外の人と遊べる時間が増えると子供のストレスも減り、我々の残業も減ると思う。
- ・ ボランティア、院内学級がない中、すべての子どもたちの“楽しみ”や“教育”を、保育士ひとりでは限界がある
- ・ 家族面会の解除までの段階
- ・ 遊びの提供のアイデア不足。ベッドサイドで遊ぶには密になるため、どこまで良いのか判断ができない。おもちゃの消毒。本の消毒ができないため貸し出しできない（アルコールで拭いていたが、どこまで効果があるのか不明である。人手が足りず追い付かない、できないため）。
- ・ 当院は1.2週間程度の入院がほとんどの急性期病院なので、COVID-19による患児への影響はさほどないのではないかと思います。しかし面会制限による親御さんの不安は、いつもに増して大きいようです。また子どもたちと遊ぶことを専門とするスタッフは少ないので、子どもの日常を充実させることに難しさを感じます。
- ・ 学童期の入院患者たちへの気分転換、魅力的な遊びや学びの提供、AYA世代患者のピアサポート機会の減少、年少児の付き添いをされている親御さんの心理的ケア

- ・治療中は通常でも孤立感を覚えやすく、交流の場（病室はもちろん、院内学級、プレイルーム等）を通しての自然な他児との関りの中で仲間とのつながり、ピアサポートが治療生活に大きな励みとなっているが、今はもちにくい現状がある為、タブレットなどを通して交流を持てる機会が作れたら嬉しい。
- ・癒やしが必要ですが、具体案はなかなか難しいです。
- ・Wi-Fi 環境の整備、オンラインでのイベントの充実など
- ・現時点では特になし。（通常通りでよさそう）
- ・子ども同士の交流が減っていることがとても気になっています。学校は週1で先生たちがベッドサイドも訪問してくれていますが、子ども同士の交流はありません。新規で入院してきたお子さんの場合あまり他児と知り合う機会もなく、孤独になっていないかなと心配になります。どういうサポートがあれば、というアイデアがあるわけではないのですが、交流を自然にできる環境をどう構築すればいいのか、課題だと思っています。
- ・オンライン学習ができる環境（現状は院内学級との交流が紙面のみでしかできていない）
- ・家族との絆が感じられる環境（現状はファックスとオンライン、テレビ電話等）
- ・デバイスツールがなく、Web カメラやタブレットがあれば有難い。（しかし Wi-Fi がない）
- ・ミッキー体操など体を使う遊びを伝えて下さい。
- ・ご家族といっしょに作成できたりする図工物セットなど
- ・自粛により感染症が減り、入院患者も少ないです。長期入院の方も現在おりません。在宅で気晴らしもできず過ごしている本人・家族へのサポートが必要と感じております。
- ・ウェブを使った遊びや繋がりには有用と考えます。
- ・バルーン人形や花など見ているだけで楽しくなるものを病棟内に飾れると子供たちが喜ぶかなと思いますが、自分は犬くらいしか作れません。
- ・笑い声がでるイベント
- ・ゲームのためにタブレットやWi-fi を利用する人は多いのですが、一部経済的理由で持てない患者は学習のためであっても使用できないでいる。社会貢献としても限界はあると思うが、遊びではなく学習面のサポートが欲しい。
- ・病棟の中に楽しいことが一つでも多く、笑顔の時間増えるようなかわり
- ・子ども達が使用できる WEB 環境がないため、YouTube クリニクラウンチャンネルの配信内容を DVD にして頂けば、全ての子ども達に見せてあげることができる。
- ・行動制限がある中でも、季節の行事などメリハリある時間が過ごせれば
- ・入院中の子どもたちは、本当によく頑張っています。今の現状は、人との距離やつながりを離したり、減らすことが求められているので、他にも頑張っている仲間がいるよ。1人じゃないよ。と分かりやすく伝えるには、どうしたらいいのかな…と考えているところです。どのようなサポートが出来るか、逆にヒントやアイデアがもらえたら嬉しいです。
- ・精神的サポート
- ・治療中は通常でも孤立感を覚えやすく、交流の場（病室はもちろん、院内学級・プレイルーム等）を通しての自然な他児との関わりの中で仲間とのつながり、ピアサポートが治療生活に大きな励みとなっているが、今は持ちにくい現状があるため、タブレットなどを通して交流をもてる機会が作れたら嬉しい。
- ・普段のボランティアさんによる活動が休止しているため、QOL 向上の為に芸術的活動等をオンラインを通してできないか。
- ・クリニクラウンさんから ベッド上で楽しくあそべる遊びの技（マジックや簡単工作、変装？アイデアなど・・・）伝授していただける機会があれば嬉しいです。（クリニクラウンチャンネルでしてくださっていたら、今後は活用したいです。）

- ・小児用マスクがほしい。 ・今年4月に小学校入学となった患児へ学習支援できるようなツールがほしい。
- ・非日常的な入院生活の中で、入院したことで感じられる想いに対する支援
- ・何か気分転換になることができればいいなと思っております。
- ・プレイルームや小さい子供向けの物は色々があるが、中学生ぐらいの子が楽しめる何かがあればいいな。と思う。(保護者より)

5-1. クリニクラウンWEB 訪問について関心がありますか？

ある：51 ない：9 どちらともいえない：3

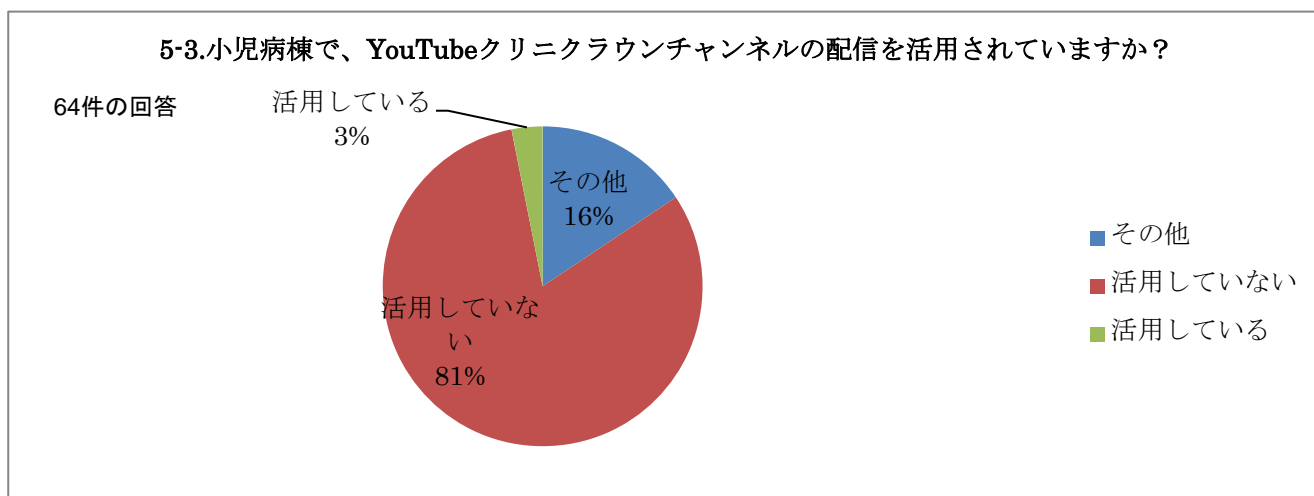


5-2. その理由をお書きください。

- ・子ども時間を味わえる貴重な時間となるため。
- ・患児の生活に刺激がないため（正月休みのような雰囲気）
- ・入院環境の制限が厳しい今だからこそ、「こども時間」が必要と思う。
- ・オンラインでも楽しむことができるので誰でも自由に参加できるところ。
- ・どうしても直接訪問していただけない今、Web を利用した訪問は多くの子どもが楽しめていいと思います。
- ・子どもと家族の療育環境の向上、QOL の向上
- ・幼児以降であれば楽しみに繋がるため
- ・元々クリニクラウンさんの活動を当院でも取り入れたいから。
- ・定期訪問を頂いていたクリニクラウンさんの活動が休止しているため、WEB という形をかえての訪問を再開して頂く可能性を考えたい為。
- ・気分転換になったり外の空気を感じられる時間になると考えるから。
- ・プロジェクターがあるため可能だと感じた。ただ、コロナで集まることができないため、課題が残る。
- ・当院はWi-Fi 環境が整っておらず、実現は難しいかともいますが、他施設がどのように行っているのか見てみたいです。
- ・知らないから

5-3. 小児病棟で、YouTube クリニクラウンチャンネルの配信を活用されていますか？

活用している：2 活用していない：52 その他：10



5-4. その理由をお書きください。

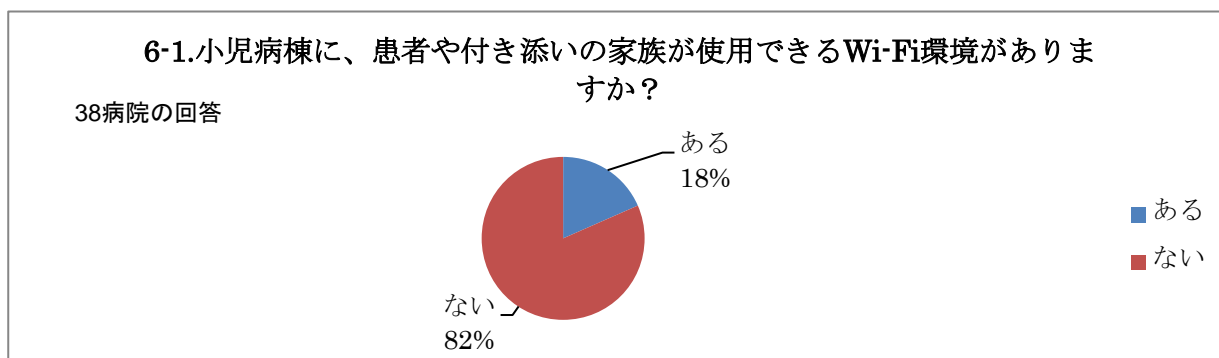
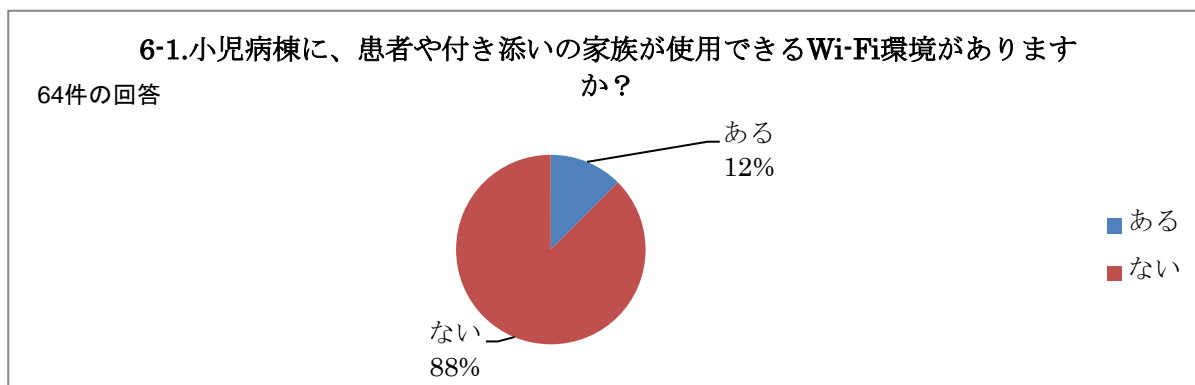
- ・過去に訪問を受けた子は、会ったことのあるクラウンさんを見て喜ぶと思うので。
- ・興味のある患者は利用している
- ・こどもらしい時間を取り戻すため
- ・準備中
- ・患者個人の通信機能は制限指定がないので個々での視聴はしている。病棟としては、一斉に集めて視聴するとなると、感染症の問題などあり種々の問題が出てくる。
- ・今後活用していきたいが、病棟で使用できるタブレットがないため、個人のものを使用することになるので、今は配信を活用しておりません。
- ・子どもたちが個別に閲覧していると思います。病棟としてはWiFiがありません。
- ・受信環境がない。現状では子どもたちを集めて見ることはできない。でも子どもたちが楽しめる時間は作りたい。
- ・患者さんへのYouTubeチャンネルの紹介のみ
- ・案内は掲示しているが、クリニクラウンになじみのない子がほとんどのため。
- ・プレイルームが使用できないので皆で見られないため。
- ・Web訪問は興味があるが、Wi-Fi環境やタブレットなど病院で用意できていない。
また、配信サービスをサポートとして付けるスタッフが不足している
- ・環境がなく周知していない
- ・現在は集合しての視聴もできない、個々が見えるネット環境もないため
- ・ごく短期で退院する患者のみであり、鬱屈とすることなく経過しており、喫緊の活用の必要性を感じておりません。
- ・端末数・Wi-Fi環境が十分ではない
- ・病棟にWi-Fi環境がない。
- ・病棟への電子機器の持ち込み制限があるため
- ・病棟は基本的に電波の発するもの（電話）禁止
- ・入院中、病棟での携帯電話やPCの使用を許可していない
- ・各個人のiPhoneなどを使って見ているため

- ・情報を知らない
- ・環境が整っていない。Wi-Fi環境ではない。
- ・このような活動があることを知らなかったから。
- ・病棟内に配信できる機器がないから。
- ・集団での活動ができないから。
- ・今回のアンケートを通して知った。
- ・YouTubeでの配信をしていることをわかっていなかった。
- ・そのようなチャンネルがあることを知らなかった。
- ・WiFi環境やタブレットの使用環境がないため。
- ・感染症などの子もおり、導入には種々の対策が必要となるため
- ・ネット環境が整備されていない。
- ・患者さん向けのWiFi環境が整備されていないので積極的には活用できない。
- ・病棟でWebを見ることができない
- ・web環境が充実していないため、個人差がでてきてしまう(Wi-Fi、通信機器の有無より)
- ・院内でのWi-Fi環境がない。
- ・病棟にWi-Fiがないため、こちらからは提供できない。
- ・当院の小児病棟はWi-Fi環境が整っていません…。
- ・以前に訪問がなく、また、配信について知らなかったから
- ・今回、知りました。
- ・小学6年生なので、自分の興味あるものしかしようとしなない。(保護者より)

6-1. 小児病棟に、患者や付き添いの家族が使用できるWi-Fi環境がありますか？

ある：8 ない：56

(38病院内 ある：7 ない：31)



6-2. 小児病棟の Wi-Fi 環境について該当するものに☑してください。(複数回答可)

Wi-Fi は、患児や家族が病室で自由に使える	7
Wi-Fi は、病院に申請すると患児や家族が病室で自由に使える	2
患者や家族が使用できる病院の Wi-Fi はない(個人の持ち込みは許可している)	37
患者や家族が使用できる病院の Wi-Fi はない(個人の持ち込みは不可)	11
その他	
1 階にある一部のスペースでのみ利用できるフリーWi-Fi があります。	1
Web 閲覧など使用可能エリアが病院で決まっている	1
Wi-Fi 利用は原則認められていないが、暗黙の了解になっている。	1
おそらくWi-fi は許可していないはずですが、黙認かと思えます。	1
外来の一部分しかフリーWi-Fi がない	1
スマホ・携帯電話のみ許可している	1
処置時にディストラクションツールとして使用する ipad のみ、病院側に設定していただいたWi-fi を接続しています。	1
処置室とナースステーションのみ Wi-Fi がつながっており、病棟用の iPad が 1 台だけあります。	1
職員は病院への使用許可申請により自由に使えるようになっています。	1
精神科では Wi-Fi の使用が禁止されているが、身体科では持ち込んでいる家族がいる。	1
有線のインターネット使用できる PC はプレイルームにある	1
オンライン学習に用いる通信環境については、患者毎に病院に許可をとり Wi-Fi 環境を準備してもらっています。	1
限定した場所で家族が使用できる	1
個人の持ち込みは目を瞑っている。	1
使用できる部屋が限られています。	1
病院一階に一か所のみ利用できる free Wi-Fi がありますが病棟にはありません。	1
総計	73

7-1. 小児病棟の現場からご希望やアイデアがあればご自由にお書きください

- ・気軽に遊べるゲームや遊びのツールの紹介など、アイデアを教えていただけると喜ぶ職員が多いと思う。
- ・誰でもできる密着しない遊びの提供方法があれば教えてください。
- ・大部屋でプロジェクターを使用して、友達やクリニックラウンと一緒に身体を動かすダンスや遊びができてきたらいい。
- ・いつでも見られる YouTube などの動画配信だと、見たい時に見られて便利です。以前から訪問されていて、関係ができているお子さんとはテレビ電話などで繋がれると入院生活の楽しみになるかと思えます。
- ・難しいですが、平等性を保つなら、プロジェクターと Wi-Fi タブレットで、外と繋がればと感じました(今はコロナで集まるのが難しいかもしれませんが、今後を見越して)
- ・Wi-Fi を活用できる環境整備、本の消毒機械の購入。コロナ禍の中で、感染対策を取りながら患児と遊べる方法のマニュアルを全国的に提示して欲しい(厚労省？小児科学会？病院？)。
- ・タブレット、オンラインなどをできるだけ活用できる機会、環境づくりを考えていきたいです。クリニックラウンさんの様々な映像、画像を、これまでの定期訪問のみならず、より日常的に感じられるような工夫もできれば(クリニックラウンまちがいさがしなどの画像をディストラクションに使うなど・・・) と思えます！

- ・オフ会などができれば、いいのかもしれませんが。
- ・オンライン配信なら受け身（ただ見るだけ）よりも参加型がありがたいです。見るだけなら YouTube など色々な動画が既にあります。
- ・手を動かしたり会話したりゲーム（なぞなぞ大会とか、みんなでしりとり大会とか）したりというような双方のやり取りがある方がいいです。子どもたちのコミュニケーション不足の解消に役立つとありがたいです。
- ・特になし。
- ・簡単な工作セット。メッセージを書いて誰かに贈れるとか、出来上がりを見せ合いたくなるような（自分で色を塗るとか…自分らしいものが完成できるもの？）訪問できない期間をつなげるようクリニックラウンジのものでもいいと思いますし、CCのマークをいれてもらったりしてもいいのかなと。。。かなりあいまいな希望だけ書いてしまいました。
- ・個人でも楽しめて、みんなとも一緒に何か作り上げるようなコンテンツ。お題があってそれを個人で解き、患者さん同士で繋げていって何か楽しいものができあがるようなコンテンツ。ただ年齢層がばらばらなので難しいかもしれない・・・
- ・タブレットを貸していただく場合はオンライン学習や、学校や家族と連絡をとったり個人に合わせた使い方ができれば有難い（いわゆる通信機器としての使用）。決められたコンテンツを視聴するだけになるのでしょうか？ITに詳しくなくてよくわからず申し訳ありません。
- ・クリニックラウンジ絵描き歌とかあれば、教えてください。
- ・現在は臨床工学部よりWIFI周波数を禁とされている
- ・現実には、子どもたちは個別にWi-Fiを利用しており、病院として黙認しています。施設として入院中の子どもたちが利用できるWi-Fi環境を整えるには、病院上層部との調整が必要です。
- ・プレイルームとWEBカメラで繋いでのクリニックラウンジWEB訪問には興味があります。
- ・クリニックラウンジのYouTube番組はCOVID-19以降も利用できるのではないかと感じます
- ・Web訪問については、関心はありますが、現在はプレイルームは閉鎖しており、子供たちが集合するような企画も自粛しております。今後、プレイルームの使用再開した際にはお願いできるかもしれません。
- ・いつも、小児病棟へのお気持ちを向けていただけて感謝しております。
- ・5-2にも記載しましたが、7-3を強く希望します。
- ・YouTubeの配信をDVDにいただければ、Wi-Fi環境がなくても見ることはできます。でも、やはりクリニックラウンジの皆様が訪問して一緒に遊んだり話したりすることが何よりです。1日も早くお目にかかれる日を楽しみにしています。それまで一緒にがんばりましょうね。皆様もご自愛ください。
- ・先日は、子ども達にメッセージカードを届けていただきありがとうございました。クリニックラウンジさん達に出会ったことのある子ども達は、突然届いたメッセージに驚いていました。このような機会がありましたら今後もお願いしたい。
- ・いつも訪問ありがとうございます。入院中のこども以上に、いつもいつも楽しみにしています。自粛することばかりで、入院中のこどもたちに季節感を味あわせてあげることができません。こども、家族が笑顔になれるような行事がしたいです！
- ・WEB環境が整い、頻繁な交流が可能になればWEB訪問もありかもしれませんが、いずれ実際に訪問していただき交流できることを望んでいます。
- ・通常はポータブルDVDを使用しているため、クリニックラウンジ訪問の様子などを録画した映像をDVDで見られると良い
- ・長期入院で、クリニックラウンジ訪問を受けたことがある児には、クリニックラウンジからのメッセージカードを渡す
- ・病棟の入り口がガラス戸になっているため、病棟内には入らず窓越しで訪問

- ・ You Tube チャンネルや配信を、入院している子どもたち全員が見られる環境が整っていなかったり、スマホやタブレットを所持していない子どもたちも多数いるので、例えばDVDを作っただけなら、プレイルームで好きな時に見たり、部屋でDVDプレイヤーやパソコンで見たり出来るかな…と思います。ギガの制限などに左右されずに（これは切実な問題なのです泣）、気軽に見られるかな…と。
- ・ これまでは退院した子どもと入院中の子どもやスタッフの交流があった。今はストップしている。外来で来た子どものところへスタッフがタブレットを持って行き、病棟とつなげることができたら、これまでの関係やつながりも継続できる。
- ・ タブレット貸し出しが実現可能な場合、クリニックラウンさんの秘蔵映像？のような、短時間で楽しめる動画などがあると、処置の時のディストラクションに活用させて頂けたら嬉しいです。
- ・ 入院生活は非日常であるため、その非日常を活用しての機会があればいいなと病棟師長が申しおりました。タブレット整備が院内で整っていないことと、プレイルームで一斉に集められないことや機器の破損等のリスクがあるため、Web 配信を楽しむ環境がまだ整っていない状況です。クラウンさんの世界をリアルに享受できる時期がはやく訪れることを願っています。
早く安心して来ていただくことができる日が来ることを楽しみにしています！
- ・ Wi-fi 環境の充実、端末の充実とともに、病室以外で時間貸しで個々に自由に使えるクリーンな空間があれば、免疫が下がった時等も、オンラインで外部と繋がり遊んだり、レッスンを受けながら動き回ったりすることができるのでは、？（保護者より）
- ・ いつもクリニックラウンの方が病室に来てくださった時は、とてもうれしく、励みになっていました。ありがとうございました！病室で母子だけで過ごしていると、このような機会があるだけで、とても明るく、楽しい気分になります！これからの治療に対する気持ちも、ずいぶん前向きになるので、これからも活動宜しくお願い致します。（保護者より）

7-2. 小児病棟への Wi-Fi 環境の整備の支援や貸し出し用タブレットの寄贈の機会があれば希望しますか？

希望する：17 条件が合えば希望する：32 希望しない：4 その他：10

7-3. 小児病棟への Wi-Fi 環境の整備の支援や貸し出し用タブレットの寄贈の機会があれば希望しますか？

63件の回答

